

## 熱中症にご注意。お隣の国(2014.8.1)

連日の暑さ、如何おすごしですか？

熱中症になって救急搬送される方々が多くなっています。

まずは、早め早めに水分の補給でしょう。

次に、あまりにも体を動かし過ぎて、疲れすぎないことです。

これまで出来たから、この位は大丈夫と思うのは、危険です。

日々年を重ねていることは誰もが否定できないことなのですから。

夜眠る前に、コップ一杯の水を飲むことも必要な事です。

とにかくこの暑さの続く間はふんだんに水分を摂りましょう。

塩分やアルコール分が含まれていなければ、入った分のいくらかが尿として出てくるだけですから。



先月の連休にソウルに行って来ました。

我が国と韓国とのギクシャクした関係が続いている事や連絡船の沈没事件、そして私専用の漢方薬を処方してもらうこと等からです。

二年ぶりのお邪魔でした。

ソウルには、かつて我が家にホームステイし、その後長い間、仙台で学んで帰国した“徐知澤（そ・ちてつく）”君がいて、通訳と移動手段の自動車を提供してくれるのです。これまで何回も訪問する機会があったのですが、ハンゲルでの会話などが上手になりません。

日本語のみで全てが間に合い、片言のハンゲルも使う必要が無いからです。

韓国は38°線でごく区切られ、決して広くないはずなのに、広い道路（3~4車線）を造り、自動車の流れは、米国そのものです。なぜそれが出来るのか？と考えたときに、群立するマンションの存在がやっと理解できました。

戦後、米国と共に北朝鮮に対峙したことから、交通手段も含めた米国流の日常生活様式が導入され、その結果が現在の形になっているのだと、云うことです。

低層家屋群を取り除き、高い建物に集約すれば、土地は有効に使用できるわけで、群立マンションは、高台から望めば、霜柱が大きく姿を現しているような、まるで箱庭の造形を覗いているようなものでした。

米国迄行かなくとも、米国並みの運転ができる韓国が、すぐ隣に存在するのです。

楽しまなくてはと考えました。

暑さは続きます。くれぐれも気を付けましょう。

『喉の渇く前に、水分の補給ですよ』